

会議等結果報告書

名 称	第1回観光開発審議会
日 時	平成31年2月26日(木) 19時00分～20時50分
場 所	役場2階審議室
出席者	委員：青野範子、野口雅史、伊藤仁敏、伊佐幸洋、富田成一、佐川泰正、巽 俊明 町：副町長、企画商工観光課長、商工観光班 担当主幹、担当主査
<p>司会進行：企画商工観光課長</p> <p>●開会（企画商工観光課長）</p> <p>●辞令交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副町長が各委員の自席に移動して、辞令書を交付。 <p>●副町長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員承諾と本日の審議会出席のお礼。 ・現在の観光振興計画が終わり次の5年間の取組みを進めるための第2次観光振興計画を策定するため、各委員のご意見を伺いながら進めてまいりたい。 <p>1 審議会会長及び副会長の選出について</p> <p>企画商工観光課長：選出方法については上富良野町観光開発審議会条例第4条の規定に基づき、委員の互選となっていることを説明し互選の方法を打診。事務局案を提示</p> <p>企画商工観光課長：会長には、かみふらの十勝岳観光協会の青野範子会長、副会長には住民会長連合会の巽 俊明会長にお願いしたい旨の提案を行い、各委員了承、事務局案どおり会長及び副会長が決定した。</p> <p>2 第2次観光振興計画の策定について</p> <p>副町長から青野会長(自席)に対して別紙のとおり諮問が行われた。</p> <p>第2次観光振興計画素案について担当主幹より説明</p> <p>【質疑応答】</p> <p>(伊藤委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体から個人への動き、台湾や香港などから外国人が来ている状況等を考えると、もっとターゲットを絞った方が良いのではないかと。道内観光客はあまり減っていないのではないかと。訪日外国人を対象にしていって良いのではないかと。 <p>(富田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・17ページの課題を解消する取り組みが必要ではないかと。 <p>(佐川委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を解消する取り組みをもっと明確にするべき。 <p>(伊藤委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内の人がどこに何があるか町のことをあまり知らないのではないかと。 <p>(佐川委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと具体的なことを入れていって良いのではないかと。 ・高齢化に伴う交通インフラの拡充の必要性、フットパスや登山などで来たい人はいるが、十勝岳線バスが不便である。 	

(企画商工観光課長)

- ・17ページの課題を解消する取り組みについて、22ページ以降のアクションプログラムとの繋がりをわかりやすくした形で修正していきたい。
- ・旅行者のターゲットは事業者によって違うので、町として全体的な取り組みとなっていく。

(佐川委員)

- ・フットパスで訪れる人もこの地域が欧米に似ているとの声があった。欧米人が多く訪れる町が良いのではないか。
- ・最近SNSでの情報発信が有効である、拡散する取り組みをもっとできれば。

(野口委員)

- ・外国人がフェイスブックやツイッターに美味しいと投稿し、「いいね」がついたところに多くの客がやってくる。

(富田委員)

- ・上富良野の写真を撮って投稿してもらい、「いいね」をたくさん獲得した人に景品をあげるとかしてはどうか。

(伊藤委員)

- ・Wi-FiよりもSIMカードを借りて自分のスマホを使う人が増えている。QRコードによるスマホ決済も増えている。

(佐川委員)

- ・商工会でも地域カードの導入を検討している。カード決済は利用料が高いがQRコードなら安い。
- ・9ページの四季彩まつりの入込数がH27からH28で大きく減っているが、これは集計方法が変更になったためである。その旨記載した方が良いのではないか。

(巽委員)

- ・山開き、紅葉まつりは一桁までの数字だが、他は端数整理されている。どちらかに統一することはできないか。

(伊藤委員)

- ・16ページの課題の整理、弱みの検証から課題を出していき、それを解決につなげる。

(富田委員)

- ・将来像について抽象的なものではなく「十勝岳」などの具体的な言葉を入れてはどうか。

(佐川委員)

- ・商工会でも伴走型補助などを行ってきている。将来像は100年先のことを考えていっては。

(伊藤委員)

- ・町で働く人が減ってきている。

(佐川委員)

- ・凌雲閣でも外国人を雇用しているが、町内でももっと外国人を雇用してはどうか。

(青野会長)

- ・凌雲閣では利用者はアジア系が多い、欧米系が少ない。

(富田委員)

- ・町内で食べられるところがあった方がいい。農家跡地とかに出店があれば。

(巽委員)

- ・十勝岳線バスは不便である。素晴らしい温泉があるのに利用しづらい、もっと便数を増やしてほしい。

(伊藤委員)

・マカオに行ったら、タクシーやバスで周遊観光できる仕組みが出来ている。上富良野でもご当地メニューなどを作り食べ歩きできれば良い。

(巽委員)

・町内にきれいな店が少ない。

(伊藤委員)

・店や皿などが汚くても美味しければ良いと思う。アジア圏はそのような感じの店が多い。

(青野会長)

・すべての町民が観光客に受け入れられる体制づくりの必要性があるのでは。

(伊藤委員)

・すべてを受け入れられる訳ではないが、農地に入るとかはダメ。やっぱり非日常を求めてやってくる人が多い。すべて立派にしようとしなくても、今のままの状態を楽しんでもらうことも必要ではないか。日本はトイレがきれいだし数も多い。そんな国はあまりない。

(伊佐委員)

・観光入込で美瑛や占冠が増えてきている要因は何なのか。

(佐川委員)

・富良野沿線で観光入込が増えているということは、上富良野も通っているはず、富良野に泊まって上富良野に寄ってもらえればよい。

(伊藤委員)

・外国人は千歳に降りて、観光してまた千歳から飛んでいくことはあまりしない。今の時期であればガリンコ号とかオホーツク方面が人気。

・富良野沿線の月別入込も知りたい。

(巽委員)

・富良野～美瑛に来る人をどのようにして上富良野に呼び込むか。

(伊藤委員)

・富良野は食べ物がおいしい。旭川から新鮮な魚も入るし、肉も野菜もある。

(青野会長)

・様々な意見が出たが、具体的なアクションプランを話し合う場を設定してはどうか。

(巽委員)

・22ページの戦略会議をこのメンバーでやってはどうか。

(企画商工観光課長)

・今後プロジェクトチーム的なものを作り進めていくことも検討している。

●最後に

・青野会長から挨拶。

以上で終了